

令和 7 年度

石川県成長戦略 実施状況 【概要版】



石川県成長戦略の体系

基本目標

幸福度日本一に向けた石川の未来の創造

～住みやすく、働きやすい、活力あふれる石川県の実現～

<目指す姿> <視点> <6つの戦略>

住みやすい
石川県

働きやすい
石川県

活力あふれる
石川県

視点1
石川の新たな価値の創造

視点2
県民が健やかに安心して暮らせる社会の構築

- 1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり
- 2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり
- 3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり
- 4 石川の未来を切り拓く人づくり
- 5 温もりのある社会づくり
- 6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

<2つの横断的戦略>

- 1 デジタル活用の推進
- 2 カーボンニュートラルの推進

<38の施策>

- 1 産業のDX推進
- 2 産業のGX推進
- 3 産業を支える人材の確保・育成
- 4 新事業・新産業の創出
- 5 国内外への販路拡大・魅力発信
- 6 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化
- 7 企業等の戦略的誘致
- 1 農業生産構造の強化
- 2 持続可能な農業・畜産業の体制づくり
- 3 農林水産物のブランド化の推進や里山里海地域の振興
- 4 県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化
- 5 持続性のある水産業の実現
- 1 個性と厚みのある文化の創造と発展
- 2 スポーツを通じた活力の創造
- 3 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化
- 4 交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤のさらなる充実
- 5 地域活力の向上に向けた移住・定住の促進
- 6 個性豊かな地域づくり
- 7 世界に開かれた国際交流の推進
- 1 次世代を担う人材の育成
- 2 地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展
- 3 人生100年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備
- 1 安心して子どもを生み育てることができる環境の充実
- 2 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり
- 3 全ての県民への必要な医療の提供
- 4 誰もが心豊かに安心して暮らせる多様性を認め合う社会づくり
- 5 男女が共に活躍できる社会の実現
- 1 災害に負けない強靱な県土づくり
- 2 安心して快適に暮らせる地域づくり
- 3 持続可能な循環型社会づくり
- 4 自然と人とが共生できる社会づくり
- 1 デジタル活用の基盤整備
- 2 社会全体のDX推進
- 1 幅広い産業分野におけるGX推進
- 2 エネルギー構造の転換への対応
- 3 住宅や民間施設などのゼロエネルギー化の促進
- 4 環境配慮型自動車の普及やモーダルシフトの促進
- 5 カーボンニュートラルの実現に向けた県民意識の醸成

戦略の実施状況

戦略 1

新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

- スマートエスイーIoT/AI石川スクールの開催や、デジタル活用ものづくり支援センターでの支援等を通じたデジタル人材育成や、先進技術の普及促進
- 産学官連携による環境適合型複合材料の研究開発等の推進や、春蘭の里「ゼロカーボンビレッジ」における水素グリルでの試食イベント等を通じて、グリーン分野への参入やカーボンニュートラル対応と競争力強化の両立を促進
- 成長戦略ファンドによる資金・マッチング支援や大学発スタートアップの発掘・育成等を通じた、新たな事業・産業及びスタートアップの創出



大学発スタートアップの発掘

戦略 2

収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

- 消費者ニーズの高い「ひやくまん穀」の作付面積の拡大や農地の大区画化・集約化による担い手の規模拡大、高温などの気象災害に強い生産施設・設備の導入支援等による生産性向上
- 県内外でのトップセールスなど、県産食材の生産振興や販路拡大、県産米の消費拡大を促進
- トキ放鳥を契機とした「トキめく能登の未来」米づくり認証制度を創設



米づくり認証制度のPR

戦略の実施状況

戦略 3

個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

- 県立美術館における復興支援特別展「ひと、能登、アート。」や歴史博物館における特別展「未来へつなぐー能登半島地震とレスキュー文化財ー」の開催による兼六園周辺文化の森の更なる賑わい創出と文化観光の推進
- アーバンスポーツの体験会やスポーツコーチの養成、県内トップスポーツチームと連携したスポーツ教室の開催、パラスポーツの普及促進など、スポーツを通じた活力の創造
- 北陸新幹線県内全線開業効果の持続に向けた特産品キャンペーンや北陸三県連携による情報発信の実施
- 「今行ける能登」団体旅行応援キャンペーンやポケモンを活用した情報発信による観光需要の喚起
- インバウンド高付加価値旅行者の誘客強化に向けた外国人のニーズに応じた体験プログラムの造成
- 石川ジャパニーズ・スタディーズ・プログラムや友好交流地域との青少年相互派遣による国際交流の推進及びホストファミリーの確保に向けたイベント出展や広告掲載など積極的な広報の実施
- 関係人口ポータルサイト「いしかわのWa！」の運用開始



いしかわアーバンスポーツパーク2025



ポケモンを活用したPR動画

戦略の実施状況

戦略 4

石川の未来を切り拓く人づくり

- 大学と連携した小・中学校の授業改善やICT活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- 「創造的復興」をテーマとした全県立高校での探究活動の実施による、ふるさとの価値の再認識と復興を担う人材の育成
- 高校生・保護者向けキャンパスツアーの新規実施等による県内高等教育機関の魅力発信と魅力づくりの推進



能登でのフィールドワークを通じた防災学習

戦略 5

温もりのある社会づくり

- 「いしかわエンゼルプラン」に基づく結婚から子育てまでの切れ目ない支援の充実と子どもの権利擁護の推進
- 修学資金の貸与による医師・看護師の確保・養成や、奥能登公立4病院機能強化検討会での議論等を踏まえた、奥能登の医療体制の「大きな方向性」の決定
- 多様な人材が活躍できる職場環境づくりに加え、管理職を目指す女性を後押しする研修の実施や、男性の家事・育児等への参画を促す取組を通じた男女共同参画の推進



いしかわ子どもの権利基本条例
リーフレット

戦略の実施状況

戦略6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

- 市町や大学と連携した講座の実施による防災士の育成
- 流域治水の取組による防災・減災対策の充実強化やインフラの老朽化対策による県民生活の安全・安心の確保
- トキ放鳥に向けた生息環境整備の促進
- 県民への注意喚起や緊急銃猟体制の強化によるツキノワグマ被害防止対策の推進



防災士育成講座の様子



橋梁耐震化（森下川橋）

横断戦略1

デジタル活用の推進

- 行政手続のオンライン化と利用環境の整備、「石川県広域データ連携基盤」を活用したフェーズフリーサービスの拡大
- スマートエスイーIoT/AI石川スクールの開催や、デジタル活用ものづくり支援センターでの支援等を通じたデジタル人材育成や、先進技術の普及促進【再掲】

横断戦略2

カーボンニュートラルの推進

- ZEH住宅、電気自動車等及び住宅用太陽光発電設備の導入支援による脱炭素化の推進
- 「いしかわゼロカーボンの日（10月10日）」イベントの開催等による県民の気運醸成

主要目標の状況

戦略	指標名	目標値 (R14年度)	実績値 (R4年度)	実績値 (R7年度)	達成 状況
1	・県民 1 人当たりの県内総生産(実質)	年平均2.2%成長 (R4～R14年の平均)	年平均0.9%成長 (H24～R4年(推計)の平均)	年平均0.9%成長 (H27～R7年(推計)の平均)	C
2	・農業産出額	600億円	480億円 (R3年)	617億円 (R6年)	A
	・食料自給率(県内)(生産額ベース)	55%	43% (R3年度)	47% (R6年度)	B
3	・兼六園周辺文化の森文化施設来館者数	354万人	234万人	275万人	B
	・観光消費額	4,000億円	2,187億円 (R4年)	3,394億円 (R7年)	B
	・人口の転入出数	社会減解消 (R9年)	▲2,163人 (R4年)	▲2,464人 (R7年)	D
4	・全国学力調査の平均正答率	小6：70%以上 中3：70%以上	小6：69.7% 中3：62.0%	小6：64.3% 中3：55.5%	D D
	・県内大学・短期大学の志願者数	34,000人	32,609人	26,308人	D
5	・合計特殊出生率	1.8	1.38 (R4年)	1.30 (R7年)	D
	・健康寿命	平均寿命の増加を上 回る健康寿命の増加	健康寿命 男性：73.08 女性：75.90 平均寿命 男性：81.79 女性：87.79 (R1年)	健康寿命 男性：73.60 女性：75.97 平均寿命 男性：81.65 女性：87.33 (R4年)	B
6	・防災士数	12,000人以上	9,125人	12,127人	A
	・交通事故年間死者数	減少	22人 (R4年)	32人 (R7年)	D
	・温室効果ガス排出量の削減率	▲50% (R12、2030年度) 排出量実質ゼロ (2050年)	▲29.4% (R2年度)	▲30.2% (R5年度)	C
横断 2					
横断 1	・オンライン化された県条例等を根拠とする 手続の利用率	90%	31.9%	51.0%	B
	・県内産業の付加価値率	22.3%	21.6% (R2年度)	—	—

＜達成状況＞

A:達成 実績値(R7年度)が目標値を上回り、目標を達成した状態

B:前進 実績値(R7年度)が実績値(R4年度)を上回っており、目標に向かって前進している状態

C:横ばい 実績値(R7年度)が実績値(R4年度)とほぼ変わらず、横ばいの状態

D:後退 実績値(R7年度)が実績値(R4年度)を下回っており、後退している状態

※「—」は、数年に一度の調査で実績値が出されるなど、R7年度の実績値がない、または未公表のもの